



石川総合理解講座

いしかわ 大百科



～石川県民大学校放送利用講座～



まなびの心 かがやく人生

番組へのご意見は…

- 石川県教育委員会事務局生涯学習課
☎ (076)225-1836
- テレビ金沢 報道制作局制作部
☎ (076)240-3344



放送予定表

2025年 前期 4月～9月

手話通訳つき放送

テレビ金沢 土曜または祝日 午前10:55～11:25

提供/石川県教育委員会 企画・制作/テレビ金沢

シリーズ・ふるさと原風景 (全8回)

石川にはいくつもの美しい景観があります。長い年月をかけて自然が作り上げたものや人が関わってその美しさを創造したもの。そこには歴史があり、文化があり、私たちの営みもあります。後世に残したい石川のシンボリックな風景を巡ります。

(このシリーズは10月以降も続きます)

第1回 4月29日(火・祝)放送 伝えたい海景観 ～奥能登のシンボル～

2024年元日の能登半島地震で崩落した見附島(珠洲市)と曾々木海岸の窓岩(輪島市)。奥能登を代表する景勝地が大きく様変わりし、外浦の海岸線の景観も一変しました。地域に住む人にとって誇らしかった能登のシンボルを後世に伝えながら、奥能登の魅力を発信している人たちを訪ねます。

第2回 5月6日(火・祝)放送 ところをつなぐ ～のと鉄道～

能登半島内浦の穏やかな里海を眺めながら七尾～穴水間33.1キロをつないでいく「のと鉄道」。能登半島地震により線路や駅舎など甚大な被害に遭いましたが、わずか3か月で全区間での運行を再開させました。地域の足としてだけでなく震災の風化防止や災害の教訓を伝える「語り部列車」の運行を開始し“能登の今”を伝えています。

第3回 6月7日(土)放送 土はやさしや ～世界農業遺産・能登の棚田～

世界農業遺産のシンボルでもある「白米の千枚田(輪島市)」をはじめ、神子原地区(羽咋市)など、能登には美しい景観を誇る棚田があります。地震の被害を受けながらもコメ作りを続ける人々を訪ね、豊かな台地が育んだ能登の風土に支えられている営みに迫ります。

第4回 7月21日(月・祝)放送 100年ものがたり ～犀川大橋・浅野川大橋～

城下町を流れる犀川と浅野川。名を冠した犀川大橋と浅野川大橋はそれぞれ2024年と2022年に完成から100年を迎えました。この100周年を機に地元町会などが参加する「百寿会」が設立され、情報発信やイベントを実施しています。激動の100年を見つめ続けた2つの大橋から、金沢の人や街の移り変わりが見えてきます。

第5回 8月11日(月・祝)放送 再生誓う生業の場 ～河北潟～

能登半島地震では液状化による甚大な被害を受けた河北潟は、金沢市・津幡町・内灘町・かほく市にまたがり石川県のほぼ中央に位置しています。石川県独自の優れた農林水産物「百万石の極み」のひとつ「加賀れんこん」など県内でも有数の農業地帯であり、環境の再生を誓って生業を続けている人たちに迫ります。

第6回 9月15日(月・祝)放送 穏やかな里海 ～九十九湾～

複雑に入り組んだ海岸線と日本有数の「藻場」であることから多様な生き物が生息する「海のゆりかご」として知られてきた「九十九湾」。穏やかで透き通った里海はその美しさで観光客を呼び寄せ、また研究や学びの場としても貴重な存在になっています。震災を経て、唯一無二の里海を取り戻そうと向き合う人たちに迫ります。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)

県民大学校については石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。

〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階

電話 (076)223-9572 E-mail : kendai@pref.ishikawa.lg.jp

大百科セレクション・再放送

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。



5月5日(月・祝)放送 天宮の城 ～七尾城が語る戦国都市～ シリーズ・知られざる石川②

能登国鹿島郡七尾(現・七尾市古城町)にあった山城の七尾城は、畠山氏によって拡張・増強され山頂にそびえる威容は「天宮」とまで称されました。前田利家が能登に来て小丸山城に移ったため開発などによる損失を逃れ、石垣などの遺構が数多く残っていることから国の史跡に指定されています。(2022年5月8日放送)

6月28日(土)放送 和のモダニズム ～金沢建築散歩～ シリーズ・かがやく石川の文化③

加賀・能登・金沢と多様な風土を持つ石川県は観光大国。その玄関口となる金沢駅の「鼓門・もてなしドーム」は今や石川のシンボリックな建築物です。城下町の歴史をつないできた金沢は2022年に開館した「石川県立図書館」や名称が変わった「いしかわ生活工芸ミュージアム」にみる和の佇まいなど、公共施設の建築様式までもが文化を感じさせます。(2023年5月28日放送)

9月23日(火・祝)放送 千里浜今昔 ～なぎさものがたり～ シリーズ・かがやく石川の文化⑦

日本で数少ない砂浜を車で走ることができる千里浜海岸は年々砂浜の浸食が進み、ここ50年で多いところでは約70mも狭くなりました。千里浜の砂を利用した「砂像」は羽咋市の各所で飾られ、美しい海岸とともにアートの場となっています。また国文学者・折口信夫の創作の場となったことでも知られています。(2023年9月17日放送)